木材利用・普及啓発

# 大阪府　大阪市（国産木材を活用した小中学校等における机・椅子整備事業）

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和４年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

## □　事業内容

**国産木材を活用した小中学校等における机・椅子整備事業**

・小中学校の新増築学級において生徒が使用する机・椅子等について、国産木材を使用した製品を整備した。

【事　業　費】57,552千円（うち譲与税57,552千円）

【実　　績】机・椅子：2,040セット

## □　事業スキーム

一般競争入札

## □　工夫・留意した点

- 森林整備や木材利用の重要性を伝えるため、設置する全ての机・椅子に、森林環境譲与税の活用を記したシールを貼った。

## □　基礎データ

| | | |
|---|---|---|
| ①令和４年度譲与額：310,620千円 | ②私有林人工林面積（※１）：0.00ha | |
| ③林野率（※１）：0.00% | ④人口（※２）：2,752,412人 | ⑤林業就業者数（※２）：157人 |

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より